

糖尿病の目の話

1 糖尿病網膜症とは、どのように進行するのですか？

糖尿病網膜症は、高血糖により、網膜の血管が傷むために発症する病気です。初めは血管が侵され、小さな出血が生じます。この時には全く自覚症状はありません。病気が進むと、さらに血管がつまり、血液が流れにくくなります。この時には、多くの出血が生じるばかりか、血液成分もたまり（浮腫）、視力障害を自覚するようになります。さらに進行すると、いたるところに悪い弱い血管が生じ、大きな出血を引き起こします。また、網膜剥離や緑内障も生じるようになり、高度な視力障害をきたしてしまいます。

2 網膜症以外にも目の合併症があるのですか？

よくあるものは、白内障です。また、



院長 丹呉英介

今月は糖尿病の3大合併症のひとつ、糖尿病網膜症について、日頃皆様からよく受ける質問にお応えします。

黒目の障害や茶目の炎症も起きることがあります。糖尿病は目と密接な関係があります。

3 よく見えるのに定期検査を受けないといけないのですか？

先ほどもお話ししましたが、自覚症状は病気がかなり進行してからでないと生じません。自覚症状がない時から定期検査を受け、適切な時期に治療をすることにより、将来起こりうる視力障害を予防することが可能になります。

4 実際、眼科ではどんな検査をするのですか？

一番大切な検査は、「眼底検査」です。目薬で瞳を大きく開き、目の奥にある網膜の状態を観察します。現在の状態を把握するために必須の検査です。

5 レーザー治療とはどんな治療法ですか？

目的は、網膜の血流のない部分にレーザーを当て、悪い血管の発生を抑制します。今後、生じる可能性のある出血や網膜剥離などを防ぎます。ですから、あくまでもレーザーは視力がこれ以上悪化しないための予防治療です。

丹呉眼科

イトーヨーカドー葛西店2F

江戸川区 東葛西9-3-3

TEL / 03-3686-2611

http://www.tango-ganka.jp



土・日・祝日 診療

診療受付	月	火	水	木	金	土	日・祝
10:00 ~12:30	○	○	○	/	○	○	○
14:30 ~18:30	○	○	○	/	○	○	○ ~17:30